

AOB Seminar

講演者名: ①小平 秀一 客員教授, ②浜野 洋三 上席研究員

所 属: 海洋研究開発機構

開催日時: 2013年11月20日(水) ①14:40 - 15:50 ②16:00 - 17:30

場 所: 地震・噴火予知研究観測センター 別館第1会議室

講演題目&要旨:

①「日本海溝調査:これまでの成果と今後の計画」

海洋研究開発機構では、2011年東北沖地震発生以来、宮城沖から三陸沖にかけて様々な地球物理、地質学的調査を実施してきた。その結果、海溝軸まで至る大きな滑りを示す明瞭な証拠を見出してきた。また、その結果をもとに海溝軸まで滑った地震の空間的広がりや履歴の解明に関する新しい方向性も見えてきた。

本講演ではこれまでの調査の成果とそれに基づく今後の調査観測計画について紹介する。今後の方向性に関しては多くの方から広くコメントをいただきたい。

②「海底電磁気観測の新展開」

海底電磁気観測は海底下の電磁気構造探査に用いられているが、2006年の千島列島沖地震以降、海底で観測される電磁場変動が、深海底で津波を高精度にとらえることが立証された。ここでは、これまでの海底電磁気観測装置による津波観測の成果を述べると共に、新しく開発製作したベクトル津波計(VTM)の機能・役割と今後の計画について紹介する。